

中年期以降の血糖値上昇に脳心血管疾患リスク

日本人は、加齢とともに空腹時血糖値が大きく上昇すると脳卒中や冠動脈疾患の発症リスクが高まる一方、男性では、中年期の空腹時血糖値が高くても、血糖値を適切にコントロールすれば脳心血管疾患リスクは低下することが明らかになり、研究の詳細が「Journal of American Heart Association」誌に掲載されました。

